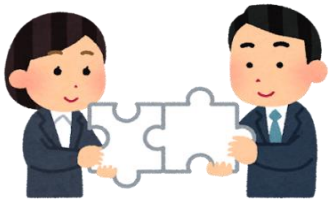
知っ得情報！

2024年
6月号

発行元
株式会社ピースワン
〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-2-7
あべのメディックス11階
TEL：06-6631-0303
FAX：06-6631-0703

◆ヒューマンエラーの防止策はありますか？◆

さて、あなたの会社にヒューマンエラーの防止策はありますか？



◆ ――――――――――――――――― ◆
見過ごし厳禁！

ヒューマンエラーのリスク
◆ ――――――――――――――――― ◆

ちょっとしたミスや思い込みなど、人的要因で発生するヒューマンエラー。
小さなミスの場合、「人間だから間違えるのは仕方ない」「次からは気を付けよう」と、個人で完結してしまい見過ごされることも少なくありません。
しかし、些細なミスだと放置しているとのちに会社の信頼を失墜させるような一大事に発展することがあります。
もし私たちのような中小企業がそのような事態に陥ると、回復するにはかなりの年月がかかるでしょう。
最悪の場合は、倒産も免れません。
そうならないためにも、ヒューマンエラーはミスの大小に関わらず、その都度対策を講じることが重要です。
基本的に、ヒューマンエラーは以下三つの要因で発生します。

①確認、認識不足
　見直しやダブルチェックを怠った。把握していないのに自己流で仕事を進めた。
②伝達ミス
「知っていると思った」という思い込み。社内のコミュニケーション不足。
③判断ミス
　上司に相談しない。社内の判断基準が定まっていない。

上記のようなミスをゼロにすることは困難ですが、最小限に抑える努力をすることで、
発生率はかなり減るでしょう。

実際に、ヒューマンエラーの軽減に取り組んでいる企業は、以下のような対策を実行しているそうです。
■複雑な業務は、図や写真、動画を使ったマニュアルを作成する
■桁違いなどイレギュラーな数値が入力されたらエラーが出るようシステム化する
■一つのシステムに二人以上同時にログインできない設定にする
■チャットツールを活用し、プロジェクトに関するやり取りはすべての関係者が確認できるよう
　必ずチャット上で行なう
■データの削除は、責任者しか実行できないようにする　　など。

どれもヒューマンエラーのリスクを軽減する有効な策ですが、
前提として必要なのは、どんなに小さなミスでも発生したら必ず社内に共有することです。
そして、ミスを報告しやすいよう【人ではなく、仕組みに原因を求める】企業文化づくりも同時に求められます。
安全経営の一環として、ぜひ【仕組みと文化の両面】からヒューマンエラーの起こりにくい環境づくりに
取り組んでみてはいかがでしょうか。

□■□――――――――――――――――――
　編集後記
――――――――――――――――――□■□

今回は「ヒューマンエラーのリスク」をテーマにお伝えしました。
小さなミスでもすぐに共有して再発を防ぐことは大切ですよね。即報告を個人で意識するのはもちろん、
社内共通の価値観としても定着しているか当社も改めて確認しようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ピースワン　保険　検索
【弊社ホームページ公開中！！】
https://www.peace-one.co.jp
弊社LINE公式アカウントです！→
お友達登録をよろしくお願いします